## この春、おかげさまで通巻100号を迎えました
# 「文京アカデミースクエア」の歩みとこれから

### ■地域・文化の情報発信のために

女性宇宙飛行士、向井千秋さんが宇宙に行き、リレハンメル冬季オリンピックが開催された平成6年。この年の10月に、文京区の地域振興を目的に設立されたサービス公社の情報紙として、「Bunkyoスクエア」(現「文京アカデミースクエア」)は創刊されました。

➡創刊号(平成6年10月5日号)

平成10年12月には、公社名を「財団法人文京区地域・文化振興公社」に変更。そして、日韓共催サッカーワールドカップが行われた平成14年の12月に、「Bunkyoスクエア」は第50号を迎えました。

➡50号(平成14年12月5日号)

### ■文京アカデミー発足と紙面刷新

日本において、65歳以上の高齢者人口が20%を超えた平成18年。この年の3月に、財団名を「財団法人文京アカデミー」に変更しました。

翌年5月には、本紙の名称も現在の「文京アカデミースクエア」に改名し、それまでの隔月発行から毎月発行に。ミューズネットに加盟する区内の文化施設を一面でご紹介するなど、内容的にも刷新を図り、これまで以上に有益な情報をタイムリーに区民の皆様にご提供できるよう改良を行いました。

➡文京アカデミースクエアに誌名を変更(平成19年5月8日号)

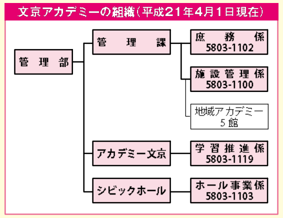
### ■通巻100号記念にあたって

今回の通巻100号記念号では、紙面を大幅に拡大。「響きの森クラシック・シリーズ」の開催や、10年目を迎える区民オペラ「CITTADINO歌劇団」、「アカデミー文京」、「シビックシネマサロン」、「区民プロデュース講座」など、現在文京アカデミーが展開する様々な活動を4面にわたってご紹介します。この機会に、文京区の地域・文化振興活動をもっと知っていただき、より多くの方に参加いただければ幸いです。

## 組織、所管事務事業及び部署が変更になりました

文京区の指定管理施設の見直し及び事務事業の再編などにより組織、所管事業及び部署が4月1日次のように変更になりました。

文京アカデミーの組織(平成21年4月1日現在)



＊区民センター、スポーツ事業課、国際交流推進係は廃止
＊文化事業係は、ホール事業係に改称
＊区民センター及びスポーツセンターなどのスポーツ施設は財団の管理施設外となりました。詳細は、新しい所管部署にお問い合わせください。

所管事務事業及び部署の変更

| | 事項 | 内容 | 旧担当部署 | 新担当部署 | 電話 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 事務事業の変更 | 文化事業(企画展、文化祭などの各種文化事業) | (財)文化事業係 | (区)文化事業係 | 5803-1120 |
| | | 国際交流推進事業 | (財)国際交流推進係 | (区)国際交流担当 | 5803-1310 |
| | | スポーツ振興事業(教室事業、各種スポーツ、区民大会など) | (財)スポーツ青少年係 | (区)スポーツ振興係 | 5803-1308 |
| | | | | 東京ドームグループ | 3944-2271 |
| | | シビックホール事業 | (財)文化事業係 | (財)ホール事業係 | 5803-1103 |
| 2 | 施設管理(受付窓口) | 区民センター | (財)施設管理係　各施設 | (区)区民センター | 3814-6731 |
| | | 文京スポーツセンター | | 東京ドームグループ(文京スポーツセンター内)各施設 | 3944-2271 |
| | | 文京総合体育館 | | | 3814-4271 |
| | | 屋外運動場(小石川運動場・後楽公園少年野球場、六義公園運動場、竹早テニスコート) | | | 3944-2271 |
| | | 教育の森公園 | | (区)みどり公園課管理係 | 5803-1252 |
| 3 | シビックセンターの施設内の施設利用にあたっての鍵及び附帯設備の受取、返却 | | (財)地下1階アカデミー文京(2/28まで)<br>2階貸出備品倉庫(3/1～3/31まで) | 2階<br>(財)文京アカデミー事務室 | 5803-1100 |
| 4 | 区民会議室受付窓口 | | 2階区民サービスコーナー | | 5803-1100 |

## スクエアの流れに見るスポーツ事業の変遷

### ■スクエア創刊時のスポーツ事業

文京スクエアが創刊した平成6年当時は、文京区教育委員会社会体育課と財団法人文京区地域振興サービス公社(文京アカデミーの前身)の2つの部署で、文京区のスポーツ振興事業は行われていました。

公社では、主に屋内スポーツ施設(スポーツセンター・総合体育館)を利用した事業を行っていました。(例　水泳教室・ミニバスケットボール大会・体操クラブ交流会等)

また、社会体育課では、主に屋外施設(小石川運動場・竹早テニスコート等)を利用したスポーツ振興事業を実施していました。(例　サッカー教室・テニス教室・軟式野球大会等)

屋内施設と屋外施設という事で明確な住み分けは出来ていたのですが、文京区内のスポーツ振興事業が2つの異なった部署で行われていた為、同じ様な事業が行われたり、利用者にとってわかりにくい等の問題点もありました。

### ■財団法人文京アカデミー発足
#### 文京アカデミースクエアの誕生

平成18年、文京区は指定管理者制度を導入し、財団法人地域・文化振興公社は28の屋内外スポーツ施設等の指定管理を受けました。それに伴い名称を「財団法人文京アカデミー」に変更し、文京スクエアも「文京アカデミースクエア」と名前を変え、新たなスタートを切る事となりました。

文京アカデミーでは、これまで社会体育課・公社で行っていたスポーツ事業を一本化し、特に小・中学生や高齢者を対象とした事業や、「ニュースポーツ」と呼ばれる年齢や体力に関係無く楽しめるスポーツの普及事業に力を入れて来ました。

例としては、小・中学生を対象とした事業として、Bヴィレッジ(日本サッカー協会協力によるサッカー教室)、高齢者を対象とした事業として、高齢者水中ウォーキング教室等といった事業を行ってきました。

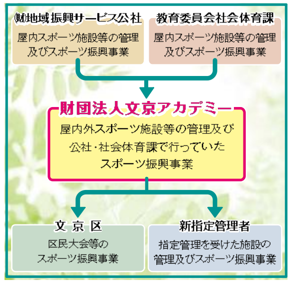
ニュースポーツの普及事業では、特に「キンボール」「ドッヂビー」といったニュースポーツの普及に力を入れて来ました。年1回開催されるキンボール大会を始め、小学校PTA等の要請に応じて、ニュースポーツの出前教室を行う「友・遊ニュースポーツ」はとても好評で、毎回大勢の方に参加していただきました。

### ■文京アカデミースクエア100号
#### 今後のスポーツ事業

文京アカデミースクエアが記念すべき100号を迎えた平成21年4月。財団法人文京アカデミーは諸般の事情により、スポーツ振興事業から離れる事となりました。

今まで、文京アカデミーで行って来たスポーツ振興事業は、区担当課とスポーツ施設の新指定管理者によって行われる事となりました。

当分の間、文京アカデミーは、当広報誌文京アカデミースクエアに、区で実施されるスポーツ振興事業を掲載する事によって、文京区のスポーツ振興に寄与していきたいと考えております。


(財)地域振興サービス公社
屋内スポーツ施設等の管理及びスポーツ振興事業
教育委員会社会体育課
屋内スポーツ施設等の管理及びスポーツ振興事業
財団法人文京アカデミー
屋内外スポーツ施設等の管理及び公社・社会体育課で行っていたスポーツ振興事業
文京区
区民大会等のスポーツ振興事業
新指定管理者
指定管理を受けた施設の管理及びスポーツ振興事業

---

## 感動と安らぎへの誘い
# 響きの森クラシック・シリーズ

東京フィルハーモニー交響楽団と文京区、(財)文京区地域・文化振興公社(現:(財)文京アカデミー)は、2000年より、地域の芸術文化振興と発展のため事業提携を結び、2002年度からは、「響きの森クラシック・シリーズ」を開始しました。

このシリーズでは、チョン・ミョンフン、佐渡裕を始め、毎回、内外の優れた指揮者・ソリストを招き、曲目も、モーツァルト、ベートーヴェンなどの古典派の名曲から、ショスタコーヴィッチ、バーンスタインといった20世紀の作品まで幅広く、毎回熱い演奏がホールで繰り広げられております。

……

今年度も、魅力的なラインナップで皆様のご来場をお待ちしております。

まず、4月12日のVol.28。テーマはスペインとロシア。若手ギタリストのホープ木村大が登場し、アランフェス協奏曲を演奏します。指揮は、今や東に西に大活躍の金聖響。メインのラフマニノフで、ロシアの雰囲気をたっぷり味わっていただきます。

次に、Vol.29。この日は、クラシックの王道を行きます。ズバリ、ベートーヴェンを2曲。先ずは、ピアノ協奏曲第4番。北村朋幹は、高校生ながら2005年東京音楽コンクールで優勝し、将来が大いに嘱望されている逸材です。そして、メインは東京フィル桂冠指揮者尾高忠明の棒で、ワーグナーが「舞踏の聖化」と称した交響曲第7番。第4楽章に向かって怒涛の展開が期待されます。チケット金額の安さも魅力です。

年が明けた1月にはVol.30が開催され、2002年チャイコフスキーコンクールで最高位入賞の川久保賜紀が登場します。彼女は、その前年、サラサーテ国際コンクールで優勝していますが、今回、そのサラサーテ作曲「カルメン幻想曲」を演奏します。続いては、これも魅惑的な名品「序奏とロンド・カプリチオーソ」。ヴァイオリンでラテンの魅力をお楽しみください。最後は、ガラッと変わってブラームス。バロック、古典に立ち返りながら、晩年の、そして若い頃の郷愁の思いをたっぷり込めたロマン派の巨匠最後の交響曲。名匠沼尻竜典のタクトでどうぞ。

最終回Vol.31は、シュトラウスの「ドン・ファン」で華々しく開幕します。続いては、ピアノの詩人ショパンの協奏曲。仲道郁代は、シリーズ3度目の登場。前2回はいずれもベートーヴェンの「皇帝」でしたので、ロマン派のピアノ協奏曲随一の人気を誇るこの作品をどう表現するか、期待したいところです。そして最後は、誰もが知っている「運命」。古今一の超有名曲に、シリーズ最多出演渡邊一正が挑みます。最後の勝利の行進に向かってどのように盛り上げてくれるか、これまた期待大です。

……

以上、簡単に聞き所をご紹介しました。8年目を迎える「響きの森クラシック・シリーズ」、どうぞご期待ください。

▲vol.25(2008年9月21日)【指揮】小林研一郎【ヴァイオリン】長尾春花

### 響きの森クラシック・シリーズ　これからの公演

**vol.28**　2009年4月12日(日)15:00開演
S席5,000円 A席4,000円 B席完売円

©Eisuke Miyoshi

【曲目】
リムスキー＝コルサコフ／スペイン奇想曲
ロドリーゴ／アランフェス協奏曲
ラフマニノフ／交響曲第2番
【指揮】金聖響　【ギター】木村大

**vol.29**　2009年10月3日(土)15:00開演
S席3,500円 A席2,500円 B席2,000円

©Masahide Sato

【曲目】
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番
ベートーヴェン／交響曲第7番
【指揮】尾高忠明　【ピアノ】北村朋幹

**vol.30**　2010年1月16日(土)15:00開演
S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円

【曲目】
サラサーテ／カルメン幻想曲
サン＝サーンス／序奏とロンド・カプリチオーソ
ブラームス／交響曲第4番
【指揮】沼尻竜典　【ヴァイオリン】川久保賜紀

©Syuji Tonoki

**vol.31**　2010年3月20日(土)15:00開演
S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円

【曲目】
R・シュトラウス／交響詩「ドン・ファン」
ショパン／ピアノ協奏曲第1番
ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」
【指揮】渡邊一正　【ピアノ】仲道郁代

©Kiyotaka Saito

## 文京シビックホール
# 区民参加事業

文京シビックホールでは、区民参加事業として「区民参加オペラ」と「区民参加演劇」をふたつの柱として実施しています。区民の皆様が、鑑賞するだけでなく、自ら参加することにより、体験することや、仲間と交流することの楽しさを感じていただき、芸術・文化に対してより理解を深めていただくことを目指しています。

### 区民参加オペラ
### 「CITTADINO歌劇団」

平成12年度より開始された区民参加オペラ。イタリア語で「市民」という意味から名付けられた「CITTADINO(チッタディーノ)歌劇団」の活動は、今年で10年目を迎えます。毎年、キャスト・合唱団員を公募し、区民の皆様を始め、多くの方々が集まり、力を合わせて一つの舞台を創り上げていきます。演目は、初回の「椿姫」にはじまり、「仮面舞踏会」、「愛の妙薬」、「カヴァレリア・ルスティカーナ／道化師」等、数々の名作を上演。今年2月8日に上演された第9期生公演「ノルマ」は、ベルカントオペラの最高傑作といわれ、団員の熱心な練習の成果により、非常にレベルの高い演奏となりました。今回は10周年という節目の年。演目は、巨匠ヴェルディの大作「アイーダ」に決定。アイーダ役には、世界的にも有名な、中丸三千繪（なかまるみちえ）氏をお迎えします。

CITTADINO歌劇団第9期生公演「ノルマ」より

区民参加オペラの魅力について、実際に参加された合唱団の方へお話を聞いてみました。

■初回から毎回参加しています。プロの先生方の指導の下、団員の仲間と一緒に声を揃えて合唱する事はとても楽しく、舞台に上がる度に新たな発見があります。(高山さん)

■初回の「椿姫」を観て感動し、ぜひ私も大ホールで一緒に歌ってみたいと思い、翌年から参加しています。出演すると、鑑賞とはまた違った感動があります。(山川さん)

■大ホールの舞台で、フルオーケストラをバックに歌う事は、普段なかなか経験できるものではありません。無類の感動です。(岡田さん)

■仲間と舞台を創り上げていく過程が楽しく、それが大きな喜びであり魅力です。男声合唱は少ないので、ぜひみなさんご一緒に。(上島さん)

◆

現在、区民参加オペラでは、「CITTADINO歌劇団」第10期生を募集中です。今回の演目「アイーダ」は大作ということもあり、例年以上に合唱の力を必要とします。初心者の方も大歓迎です。多くの皆様のご応募をお待ちしています。

※8面、『第10期生講習生募集』の記事をご覧ください。

……

### 区民参加事業
### 「演劇グループ〝ザ・シビック〟」

演劇グループ〝ザ・シビック〟は平成8年度に始まり、今年は第14期生が活動します。公募で選ばれた講習生が、1年間稽古を重ねて、毎年3月、シビックホールで卒業公演を開催します。今年は3月22日に第13期生の卒業公演「文の京　今昔ものがたり」が行われました。講師は現代劇センター真夏座主宰・演出家の池田一臣氏。池田氏は卒業公演に向かって稽古に励む講習生を忠臣蔵にたとえています。心をひとつにして本懐を遂げるという意味だそうです。今年も第14期生が目標に向かって走り出します。9月の中間発表会、3月の卒業公演、皆様是非ご来場ください。

ザ・シビック第13期生 卒業公演